

編集/発行 小田原市立図書館 小田原市城内7-17 TEL0465-24-1055  
かもめ図書館 小田原市南鴨宮1-5-30 TEL0465-49-7800  
e-mail : tosho@city.odawara.kanagawa.jp

## 今年11月・星崎記念館が開館50周年を迎えます

自然豊かな小田原城址公園の中、市立図書館として使用している星崎記念館が、今年11月に昭和34年の新築以来開館50周年を迎えます。今年は50周年を記念した事業が4つありますので、ご紹介いたします。

### ☆ 市立図書館こどもクラブ『星の子クラブ』のスタート

図書館にもっと親しんでもらおうと、『星の子クラブ』が今年4月から始まりました。対象は小学1年生から中学3年生で、読書ノートや活動カードで本や図書館と関わった記録を残したり、毎月1回行われる行事へ参加したりします。登録お申し込みは随時受付中です。

### ☆ セピア色の写真展の開催（11月13日（金）～23日（月）かもめ図書館） （11月26日（木）～12月27日（日）市立図書館）

懐かしい古き良き小田原。今年は「写真で見る星崎記念館50年の歩み」をテーマとして、これにふさわしい写真を集めました。星崎記念館の建設風景や出資者である星崎定五郎氏の胸像の製作風景など多彩な写真を、かもめ図書館と市立図書館の両方で順に展示します。

### ☆ 総合歴史講座の開催（11月21日（土）、22日（日）かもめ図書館）

今年のテーマは、星崎記念館が開館してからの50年を振り返り、星崎定五郎氏にちなんだアメリカ移民を取り上げ、また開館時の思い出を語っていただく予定です。

### ☆ 記念誌の刊行

市立図書館に思い出をお持ちの皆様から、多くの原稿を寄せていただいております。そして、皆様の思いが詰まった一冊が刊行される予定です。ぜひお手に取ってご覧ください。

～「広報小田原 おだわらいふ」への掲載や、チラシ・ポスターなどで、皆様へのお知らせを行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします～

### ● 文学館特別展の開催（10月15日（木）～11月16日（月）小田原文学館）

テーマは 一小田原出身の俳人「藤田湘子の追憶」で、ご遺族や鷹俳句会・小田原の皆様からご寄贈いただいた、直筆の短冊や色紙などを展示します。風の涼しさに秋を感じ始めるこの季節、文学館の散策に出掛けてみませんか。

# 今年も音楽教養講座を開催します。

## 第23回 音楽教養講座 クラシック入門

～ヘンデル没後250年 ハイドン没後200年 メンデルスゾーン生誕200年～

クラシック音楽を身近に、そして気軽に楽しめるよう、作曲家や演奏家にまつわるエピソードをとりあげながら音楽鑑賞をする講座です。2009年は、多くのクラシック作曲家のメモリアル・イヤーにあたります。

その中でも特にヘンデル、ハイドン、メンデルスゾーンの三人の作曲家を取り上げます。

なお、この講座はキャンパスシティおだわら（自由）対象事業です。

◇日時 ①平成21年10月11日（日） ②平成21年10月18日（日） ③平成21年11月1日（日）

※時間はいずれも13:30～15:30（受付は13時から）

◇曲目：ヴァイオリン協奏曲ホ短調 Op.64（メンデルスゾーン）、ハレルヤ・コーラス（ヘンデル）ほか

◇講師 斉藤 彌三郎さん ◇会場 小田原市立かもめ図書館 視聴覚ホール

◇定員 各日 100名（申込先着順） ◇対象 小田原市・南足柄市・足柄上郡・足柄下郡に在住・在勤

・在学の中学生以上の方 ◇費用 無料 ◇申込 9月15日（火）から

電話もしくは、直接 TEL:0465-49-7800 この事業は西さがみ連邦共和国連携事業です。

### ◆本の予約状況（9月1日現在）

順位	書名（著者名）
1	1Q84 BOOK1（村上春樹）
2	1Q84 BOOK2（村上春樹）
3	告白（湊かなえ）
4	パラドックス13（東野圭吾）
5	聖女の救済（東野圭吾）
5	悼む人（天童荒太）
7	極北クレイマー（海堂尊）
8	ガリレオの苦悩（東野圭吾）
9	アマルフィ（真保裕一）
10	英雄の書⑤（宮部みゆき）

お願い：上記の本をお持ちで、読み終えてご不要になられた方は、ぜひ図書館にご寄贈ください。

### 小田原と文学 — ⑧ 佐藤春夫と「秋刀魚の歌」

文豪谷崎潤一郎が小田原にやってきたのは大正8年のことです。

このころ谷崎は映画製作に夢中で、小田原と映画製作所のある横浜を往復する毎日でした。さらに『痴人の愛』の主人公ナオミのモデルとされる義妹の“せいこ”と同棲するという生活で、そのような日々に谷崎家に現れたのが台湾・中国旅行から帰国した佐藤春夫です。佐藤は不幸な生活をこらえて留守を守っていた千代子夫人と娘の鮎子に同情し、しばしば主人のいない谷崎邸を訪れるようになり、その想いは次第に千代子夫人への思慕へと変化していきました。このような中から生まれた作品が「秋刀魚の歌」です。

（略）“さんま、さんま そが上に青き蜜柑の酸をしたたらせて  
さんまを食ふはその男がふる里のならひなり。”（略）

これは佐藤の郷里和歌山の食習慣を歌ったもので、焼いた秋刀魚に青いみかんの汁を滴らせて食す、という食べ方を佐藤は千代子夫人に教授しました。

### ◇ 情報発信コーナー／企画展示（市立）企画展示のコーナー（かもめ）◇

#### 市立図書館（一般／児童）

- 10月 サイエンスの世界Ⅱ／音楽・楽器を知ろう！
- 11月 日本の歴史（時代編）／写真・カメラ
- 12月 大相撲／親子（おとうさんおかあさんといっしょ）

#### かもめ図書館（一般）

- 10月 「鉄道の日」
- 11月 まどみちおと詩、童謡
- 12月 温泉

#### かもめ図書館（児童）

- 10月 読んでみよう！こどもの本／スズキ・コージ
- 11月 いろいろな仕事／川端 誠・つちだ・のぶこ
- 12月 メリークリスマス／レイモンド・ブリッグス他